

幸福度日本一の福井で触れる【探究】の学びの種



福井県には、繊維・眼鏡などのものづくり産業を中心に安定した雇用環境があり、働く女性の割合（全国第2位）や共働き率（全国第1位）も高く、経済的に安定している。また、三世同居（全国第2位）・近居も多く、子どもは親や祖父母に見守られながら安心して勉強や運動に打ち込める環境があり、学力・体力の高さにつながっている。こうした環境で育った優秀な人材がまた福井県を支えるという好循環が、「幸福度日本一ふくい」の基盤になっている。

あらかじめ、
幸せだったらいいな。

幸せ度
いちばん
福井県



自然体験



第1次産業



アジアで初「BLUE FLAG」取得
ビーチで海ごみ問題を考える



福井県年縞博物館
水月湖の年縞がしめす7万年の人類の歴史は世界唯一

海も山も近く、
豊富な自然体験
第1次産業のやりがい
や苦勞、環境問題や食
の大切さなど学ぶ

伝統工芸
伝統産業
ものづくり



伝統産業の集積地としての学びの場
半径10kmの範囲に
7つの伝統産業の産地が集積

環境・エ
ネルギー
学習



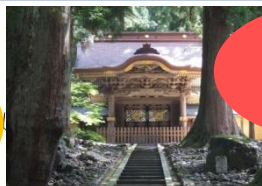
エネルギー生産現場で知る、
日本のエネルギー事情

地球と生
命の歴史



東尋坊
世界三大「輝石安山岩の
柱状節理」

禅文化



大本山永平寺
禅文化を学び、自分自身と向き合う



福井県立恐竜博物館
世界三大恐竜博物館の一つ

歴史学習



一乗谷朝倉氏遺跡
戦国時代の城下町がほぼ完全な
形で発掘（国の三重指定）



勝山自然塾
地球誕生から46億年の
地球の歴史を学ぶ

平和学習



人道の港敦賀ムゼウム
杉原千畝氏の「命のビザ」を
持ったユダヤ難民が上陸した
日本で唯一の港

チアドリームプロジェクト

チアダンスで笑顔づくり！夢づくり！人づくり！

チアドリームプロジェクト
なりたい自分になるために目的
を持つことの大切さを学ぶ

夢の実現



T P A池田
森林率9割を超える池
田町で森の役割を学び
地球温暖化を考える

テーマ	ページ	タイトル	SDGsの目標	市町
表紙	1	幸福度日本一の福井で触れる【探究】の学びの種		
目次	2			
自然体験	3	森のお仕事体験		池田町
第一次産業	4	「越前水仙」をつなぎサステナブルな未来へ		越前町
	5	漁師町「越前」の漁業探究プロジェクト！		越前町
	6	新生ブランドフィッシュ“越前がれい”を知って学んで食す		越前町
	7	漁村で生活する漁師の仕事・生業から学ぶ		若狭町
	8	山と海の繋がりから地域の人が育んできた歴史と産業を学ぶ		おおい町
食育	9	日本の豊かな伝統的食文化を考える		小浜市
地球の歴史・生命の歴史	10	46億年の地球に触れる ～勝山自然塾～		勝山市
	11	恐竜時代のリアルを体感し、今後の地球環境を考える		勝山市
	12	東尋坊「崖育」探究学習		坂井市
人類の歴史	13	奇跡の堆積物「年縞」から、7万年分の地球の歴史を学ぶ		若狭町
	14	今に蘇る戦国城下町で学ぶ、日本歴史の変遷		福井市
大陸との玄関口・都とのかかわり	15	北前船の歴史から経済の発展と物流の変遷を辿る		南越前町
伝統産業の集積地	16	産業観光のルーツを学ぶ旅！ めがねの聖地「さばえ」		鯖江市
	17	産業観光のルーツを学ぶ旅！ 越前漆器のまち「河和田」		鯖江市
禅文化	18	禅の心と向き合う旅		永平寺町
	19	禅の精神を身につけ、集中力を鍛える		福井市
平和学習	20	敦賀式平和学習～なぜ人道の港と呼ばれるのか		敦賀市
エネルギー学習	21	エネルギー生産現場で知る、日本のエネルギー事情		美浜町
	22	地域のエネルギー資産で学ぶカーボンニュートラル		美浜町
	23	木質バイオマスエネルギーを利用した循環型社会を体験		あわら市
環境学習	24	生産者から学ぶ循環型社会を体験		あわら市
	25	「海ごみ」に学ぶ。 若狭の海 de SDGs		若狭町
	26	ブルーフラッグビーチから海の環境について考える		高浜町
夢の実現	27	福井は みなさんの夢の実現 を応援します！		福井市
地域活性化	28	SDGsモデル事業選定都市 鯖江市の取り組みに学ぶ		鯖江市
フィールドワーク	29	日本を代表する2人の絵本作家・作家のふるさと『武生』をまちあるき！		越前市
	30	敦賀市内班別自主研修		敦賀市
	31	大野市内班別自主研修		大野市
	32	福井市内班別自主研修		福井市
	33	タクシー班別研修		

(注) タイトルに **素材** とあるものは、プログラムとしてではなく素材としてのご提案となります。
 なお、事前・事後学習については、福井県観光連盟・若狭湾観光連盟もお手伝いさせて頂くことが可能です。
 事前・事後などでオンラインで現地と繋ぐなど、学校様のご要望があればご相談に応じます。

森のお仕事体験



薪割り体験



火起こし体験

学習のねらい

学びや気づき

- ・里山の現状を知り、山の道具の使い方を学ぶことができる
- ・木々や生き物の生態や森で暮らす様子を知ることができる

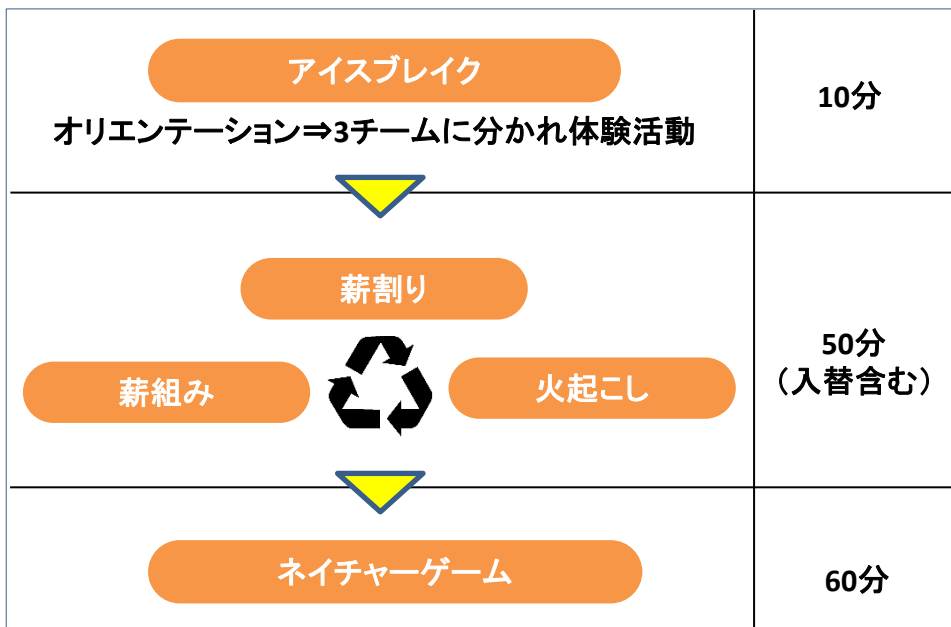


学習プログラムの内容

道具(斧、チェーンソー、ノコギリなど)を使って、薪割りや、丸太切りをして木の活用について学びます。また、すこやかで元気な森を育てるために草や雑木を取り除く「除伐」をしたり、育った木を「間伐」したりすることで、「森を守る」営みを肌で感じられます。枝や葉などの自然にあるものを使ったネイチャーゲームでは、季節ごとの森の表情を感じる体験を行います。

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：約120分～》



ネイチャーゲームの体験風景



問い合わせ

ツリーピクニックアドベンチャーいけだ

福井県今立郡池田町志津原28-16

TEL/0778-44-7474

■受入可能人数：10名×3チーム（最大40名まで可）

■対象：小学生～

■料金：60分1,000円～/人

■詳細は『ツリーピクニックアドベンチャーいけだ』HPを参照

<https://www.picnic.ikedakibou.com/>

「越前水仙」をつなぎサステナブルな未来へ



学習のねらい

日本水仙三大群生地の一つであり、国の重要文化的景観に認定をされている「越前水仙」を守り次世代へつないでいくための取組みを考えるプログラムです。



学習プログラムの内容

越前海岸は、日本水仙三大群生地の一つで、日本一の作付面積を誇ると言われています。また、越前海岸の水仙には、「越前水仙」というブランド名がつけられ、2020年度には重要文化的景観に花の登録として全国初の認定を受けました。しかし、近年、農家の高齢化や害獣被害により作付面積が減少する危機を迎えています。このプログラムでは、水仙の植え付け体験を行い「越前水仙」の復興と持続可能な観光地への挑戦“SDGs”の取組みを学ぶことができます。



事前学習

- 日本水仙三大群生地の確認や「越前水仙」が近年抱えている危機的状況について事前学習を行う
- ・担い手不足・害獣被害問題
- ・越前水仙の知名度低下など

事前

現地での学習

- 「越前水仙」の生態や水仙農家の生業を学び、実際の水仙畑にて「越前水仙」の植え付けを行う
- ・学芸員による越前水仙の生態の話聞き、ニホンズイセンについて学ぶ
- ・水仙農家より水仙農家の生業や出荷までを学ぶ
- ・実際に畑を耕し水仙の球根を植え付ける

現地

事後学習

- 「越前水仙」の認知度向上や持続可能な観光地へしていくための取組を考える
- ・「越前水仙」を次世代へつないでいくための取組みを考え、後日オンラインなどで水仙農家へ発表を行う

事後

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：約2時間》

越前岬水仙ランドにてオリエンテーション(10分)

挨拶、スケジュール確認、看板作成

学芸員による「越前水仙」の生態の話(20分)

水仙農家の生業や出荷までの話(30分)

「越前水仙」の植え付け体験(60分)



水仙の生態や水仙農家の生業を学ぶ



畑を掘り起こし水仙の植え付けを行う

探究学習をサポートする
ワークシートがセット



問い合わせ

(一社) 越前町観光連盟

越前町厨71-335-1 TEL/0778-37-1234

- 受入可能人数：40名（入れ替え制で最大80名まで可）
- 料金等詳細は福井県教育旅行ガイドブック『学び旅』を参照

<https://www.fuku-e.com/business/educational/index.html>

漁師町“越前”の漁業探究プロジェクト！



学習のねらい

漁師町“越前”の鮮魚流通体制の学習や漁業者とのふれあいにより新たな職業観の気づきや食育を学ぶことができます。



学習プログラムの内容

越前町は、古くから漁師町として栄え、福井県最大の港町として福井県の食卓を支えながら発展してきました。また、全国的に知られる冬の味覚の王様「越前がに」の県内随一の水揚げ量を誇るまさに「越前がに」本場の町です。このプログラムでは、遊漁船に乗って漁船クルーズや沖合での魚釣りを体験することで、越前海岸の漁場や漁法を知ることができ、さらには自分で魚を釣り上げることで漁師という仕事への理解や生き物をいただくという食育を学ぶことができます。



事前学習

■越前町で水揚げされる代表的な海産物を調べ、漁業が抱えている課題について事前学習を行う

- ・担い手不足・水産資源の減少
- ・日本人の魚離れなど

事前

現地での学習

■漁業者より「越前がに」の漁法や資源保護の取り組みなどを聞き、漁船クルーズや魚釣りを体験する

- ・漁師より越前町の漁法や仕事内容について学ぶ
- ・越前町漁協や福井県漁連より「越前がに」を守るための取り組みやフィッシュブランドの創出について話を聞く
- ・実際に遊漁船に乗りクルーズや魚釣りを体験する

現地

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：約2時間30分～》

越前漁港にてオリエンテーション(10分)

挨拶、スケジュール確認など

漁師による越前町の漁法や仕事の話(30分)

「越前がに」の取り組みについて(30分)

漁船クルーズや魚釣りなど漁業体験(60分～)



漁業者による越前町の漁法の話など



漁船クルーズや魚釣りなどの漁業体験

事後学習

■「越前がに」や越前町の漁業を次世代へつないでいくための取り組みを考える

- ・「越前がに」や越前町の漁業を次世代へつないでいくために自分達にできることを考え行動する

事後

探究学習をサポートする
ワークシートがセット



問い合わせ

(一社) 越前町観光連盟

越前町厨71-335-1 TEL/0778-37-1234

- 受入可能人数：40名（入れ替え制で最大80名まで可）
- 料金等詳細は福井県教育旅行ガイドブック『学び旅』を参照

<https://www.fuku-e.com/business/educational/index.html>

新生ブランドフィッシュ“越前がれい”を知って学んで食す



学習のねらい

「越前がに」に次ぐ新ブランドである「越前がれい」の取組みを学習・体験することで、フィッシュブランド創出の取組みや食育を学ぶことができます。



学習プログラムの内容

福井県で水揚げされるアカガレイは、水揚げ量の多い越前町にちなんで「越前がれい」という名がつけられています。近年、「越前がに」に次ぐブランドとして力を入れており、鮮度と美味しさを保つと言われる神経締めによる活締めを行い全国へ出荷をしています。このプログラムでは、「越前がれい」を生け簀よりつかみ取り・神経締めを施し、その後、自分達でさばいて食べるまでを体験します。本体験を通し、フィッシュブランドの創出による取組みや食育を学ぶことができます。



事前学習

- 越前町の特産品や福井県のブランドフィッシュを調べ自分の知っている特産品を探す
- ・越前町の特産品の流通確認
- ・福井県のブランドフィッシュの知名度確認など

事前

現地での学習

- 活かたまの「越前がれい」を生け簀よりつかみ取り、締めて・さばいて・食べるまでを体験する
- ・福井県漁連より「越前がれい」の取組みやフィッシュブランドの創出について学ぶ
- ・「越前がれい」を生け簀よりつかみ取り、神経締めを施し、その後さばいて刺身などを作って食べる

現地

事後学習

- 「越前がれい」や「越前がに」など越前町のブランドフィッシュのPRを自分の住むまちで発信する
- ・自分の住むまちで「越前がれい」や福井県のブランドフィッシュをPRするにはどうしたら良いかを考え発信する

事後

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：約3時間》

越前おととLaboにてオリエンテーション(10分)

挨拶、スケジュール確認など

「越前がれい」を生け簀より捕まえる(40分)

「越前がれい」の取組み・神経締め体験(30分)

「越前がれい」のさばき方体験・実食(100分)



福井県漁連による神経締めの様子



越前がれいのさばき方体験

探究学習をサポートする
ワークシートがセット



問い合わせ

(一社) 越前町観光連盟

越前町厨71-335-1 TEL/0778-37-1234

- 受入可能人数：40名
- 料金等詳細は福井県教育旅行ガイドブック『学び旅』を参照
<https://www.fuku-e.com/business/educational/index.html>

漁村で生活する漁師の仕事・生業から学ぶ



学習のねらい

- ・漁師の仕事・生業・民宿について学ぶ（キャリア教育）
- ・普段接することのない漁師・女将とのコミュニケーションを図る
- ・自然と共存する現地での生活体験を五感で感じる



学習プログラムの内容

常神半島にある漁村を活用して、第一次産業である漁業について考える力、漁村での生活・生業や地域の魅力、人とのつながりを学びます



事前学習

- ・定置網漁について調べよう。
- ・漁村での生活、生業について想像してみよう
- ・福井県における漁業エリアや漁獲量、魚種について調べてみよう

事前

現地での学習

- ①カヤック体験
光、匂い、風、波・・・人と自然が調和する時間を楽しみましょう。
- ②漁師と語る会
民宿での時間は、大人と接する機会の少ない子供にとって大きな成長に繋がる貴重な体験です。
- ③定置網漁水揚げ見学体験
定置網で獲れた魚の選別作業を見学しながら漁業を感じてもらおう。
- ④干物づくり体験
魚のさばき方から干物づくりまでの行程を学びながら地元の方との交流します。

現地

事後学習

事前学習で調べたことと現地で学んだことを合わせて結論・新たな課題を見つけ探究学習を追求し考え方を学ぶ

事後

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：1泊2日》

プログラムの流れ

【1日目】
カヤック体験（90分）▶夕食・漁師との語り（40分）
▶漁家民宿泊

【2日目】
定置網漁水揚げ見学体験（30分）
▶干物作り体験（60分）



問い合わせ

若狭三方五湖わんぱく隊事務局

三方上中郡若狭町鳥浜122-31-1 TEL/ 0770-45-0113

- 受入可能人数：プログラム、地域により異なります
- 料金等詳細は福井県教育旅行ガイドブック『学び旅』を参照

<https://www.fuku-e.com/business/educational/index.html>

山と海の繋がりにから地域の人々が育んできた歴史と産業を学ぶ



学習のねらい

おおい町の風土から漁業・林業の関連性を学び、幅広い視点で、自然との共存や生活との関わりを考えるきっかけを探ります。各プログラムを通じて自然を繋ぐ山と海の繋がり、伝統を繋ぐ人と人の繋がりを学ぶことができます。各体験の相互関係を理解し、次世代にバトンを繋いでいくために何が必要なのか、なぜ必要なのか今後取り組んでいく方向性を考えます。

12 つくる責任
つかう責任



14 海の豊かさを
守ろう



15 緑の豊かさも
守ろう



学習プログラムの内容

町域の90%を占める山林と、若狭湾国定公園に面し、美しいリアス式の眺望が得られる海を中心に、豊かな自然に囲まれたおおい町。かつての経済を担った製炭業、林業について深く知るとともに森が豊かな海を育むしくみを学びます。また、町内には、様々な技術や文化を受け継いでいる人、個人で技を磨き、高い技術・技能を持った人、そうした地元の匠や、昔ながらの生活や技・味・知識を持った人達があります。豊かな自然の中でその人達との交流を通じて、多様で前向きな生きる力を学びます。



事前学習

林業が衰退し、山が荒れ自然災害が増える現状のなか、少しでも森林を守るにはどうすれば良いでしょう。木炭製造業の担う役割と活性化、発展するための取組みについて考察しよう。海と山の関係から環境を守る取組みと第一次産業を中心とした観光産業について考えてみましょう。

事前

現地での学習

- ① 林業の歴史、人工林が果たしてきた役割と、現状から今後のあるべき姿を従事者から教わります。
- ② 最高品質の駿河炭（すがるずみ）を作る唯一の職人木戸口さんによる炭のお話と炭焼き体験から暮らしのエネルギーと継承産業について学びます。
- ③ 伊勢型紙や自分で作った型紙を使って、オリジナルのコースターを作ります。昔ながらの染付体験から伝統文化産業を考えます。
- ④ 体験を通じて、海的环境変化や資源保護の大切さを感じてもらいます。

現地

事後学習

現地学習で学んだことを一過性にせず、今後活かしていくための事後学習用ワークシートを活用し、自然を環境を守るために自分たちに何ができるか考える

事後

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：1泊2日》

プログラムの流れ

林業体験（150分）→炭焼き体験（180分）→型友禪染体験（120分）→真珠手造り体験（60分）

① 林業体験



② 炭焼き体験



③ 型友禪染体験



④ 真珠手造り体験



問い合わせ

一般社団法人 おおい町観光協会

大飯郡おおい町成海1-8-5 TEL/0770-77-1734

■ 受入可能人数：各20名×4プログラム（合計80名程度）

■ 料金等詳細は福井県教育旅行ガイドブック『学び旅』を参照

<https://www.fuku-e.com/business/educational/index.html>



日本の豊かな伝統的食文化を考える



学習のねらい

「食」とは、誰にとっても身近であり日常的なものです。その在り方が、様々な分野に関連する重要なテーマであることが理解できると、問題意識が持て、食への向き合い方が変わります。「食」が様々な分野に関連するテーマであることから、子どもたちの視野が広がり、将来の学びや職業のイメージにつながります。



学習プログラムの内容

さ世界無形文化遺産である「和食」には、魅力ある日本の食材や料理だけにとどまらない、日本人の精神性や食に関連する暮らし方も包括されている。そこで、それらを学び体験する中で、日本に対する理解を深め、誇りを高めると同時に、世界との比較の中でグローバルな視点を持つ機会とする。また、現在の日本が抱えている諸問題に着目し、福井県小浜市が2000年から取り組み続けている「食のまちづくり」の事業の事例をもとに、深く掘り下げその解決策を探る。



事前学習

- ・世界無形文化遺産「和食」とはどのようなものか知る
- ・小浜市の取組む「食のまちづくり」について知る
- ・農業や漁業など一次産業における課題を調べる

事前

現地での学習

- 食文化館滞在後、4つのルートに分かれて現場学習
- ①発酵食品（小浜市の発酵食品について学ぶ）
 - ②農業（農業を学ぶ）
 - ③伝統（伝統工芸と食文化を学ぶ）
 - ④日本遺産（日本遺産に認定されている「北前船」と「鯖街道」の歴史を学ぶ）

現地

事後学習

- 日本のこれからの食文化について考える
- 班ごとに小浜市での「食」の体験を経験した後の自分の意見について発表してもらい、小浜市職員から意見を伝える。

事後

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：1泊2日》

1日目

食文化館でオリエンテーション・講座・見学（60～120分）

食文化館滞在后、4つのルートに分かれて現場学習へ

ルート①
発酵食品

ルート②
農業

ルート③
伝統

ルート④
日本遺産



2日目

釣り&さばき体験&昼食（180分）後にまとめ

事前学習と現場学習を踏まえたワークショップ・発表会



問い合わせ

食文化館 小浜市川崎3丁目4番/0770-53-1000

阿納体験民宿組合 小浜市阿納TEL/0770-54-3611

■ 受入可能人数：150名

■ 料金等詳細は福井県教育旅行ガイドブック『学び旅』を参照

<https://www.fuku-e.com/business/educational/index.html>

46億年の地球に触れる ～勝山自然塾～



学習のねらい

大自然の中で「自然・環境・地形」のフィールドを生かしながら、五感を使って楽しく地球の成り立ちや自然環境、そして未来の地球を考える学習プログラムです。



学習プログラムの内容

「スキージャンプ勝山」の広大なフィールドを生かした『勝山自然塾』は、楽しみながら地球について学べる4つの体験プログラム「緑の教室」・「石の地球」・「地球の道」・「裸足の道」から、五感を使って楽しく地球の成り立ちや自然環境を考え、学ぶことができます。事前学習で地球の歴史について学び、当日は自然の中で地球の成り立ちを体感します。体験後に、生活の中で環境改善に向けた取組について考え、実践・継続できるまでをひとつのプログラムとしています。



事前学習

・地球の歴史について事前学習
学校で地球の歴史について学習する。事前に福井県立恐竜博物館を見学し、地球と恐竜の歴史を学んでおくのもおすすめ。

現地での学習

4つのプログラムを体験し、五感を使って地球について学ぶ
 ・緑の教室：自然の中で森の役割を学ぶ
 ・石の地球：模型を用いて地球の仕組みを学ぶ
 ・地球の道：地球の歴史を自然道を歩いて学ぶ
 ・裸足の道：裸足で歩き、五感で自然を体感する

事後学習

・未来の地球について考える
SDGsの視点から自分の生活の中で地球の環境改善に向けてどんなことができるかを考え、実践・継続につなげる。

事前

現地

事後

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：約2時間》

緑の教室 (20分)

石の地球 (20分)

地球の道 (60分)

裸足の道 (20分)



事前・事後学習を
トータルでサポートする
学習教材がセット



問い合わせ

東急リゾーツ&ステイ株式会社

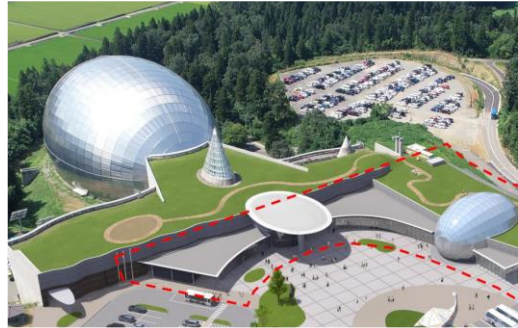
勝山市170-70 TEL/0779-87-6109

■ 受入可能人数：100名（100名超の場合は時間をずらして対応）

■ 料金等詳細は『勝山自然塾』HPを参照

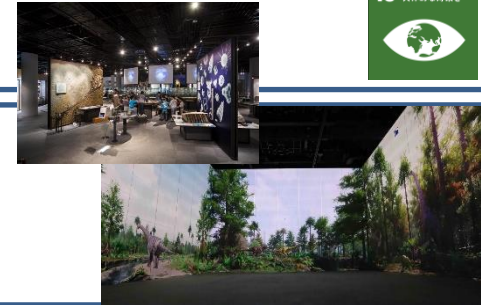
<https://www.skijam.jp/lp/shizenjyuku/>

恐竜時代のリアルを体感し、今後の地球環境を考える



学習のねらい

日本一の恐竜化石発掘量と研究実績を誇る「恐竜王国」福井県で、研究員による「恐竜授業」や「化石発掘体験」などを通じて、地球や生命への興味・関心を掻き立て、恐竜が滅んだ理由などかつての地球の気候変動を知り、今後の地球環境について考える。



学習プログラムの内容

博物館の展示は「恐竜の世界」、「地球の科学」、「生命の歴史」の3つのゾーンから構成されており、地球や生命の歴史を幅広く学ぶことができるほか、研究員による「恐竜授業」や各種体験実習プログラムも用意されている。野外恐竜博物館では、実際の恐竜化石発掘現場を間近に見学できるほか、研究員の指導のもと、発掘現場から持ってきた石を叩く発掘体験ができる。なお、「恐竜授業」については、事前の打合せに基づき、理科や総合的な学習の支援をすることも可能。

事前学習

- 化石のでき方や地層
 - ・地層や化石がどのようにしてできるのかを知る。
- 生物の変遷と進化
 - ・生物の進化を辿りながら地球環境の変遷を学ぶ。

現地での学習

- 「恐竜の世界」ゾーン
 - ・ティラノサウルスをはじめ50体もの全身骨格を展示。
- 「地球の科学」ゾーン
 - ・地球の構成岩石等、教科書に出てくる本物が展示。
- 「生命の歴史」ゾーン
 - ・地球誕生から生物の進化等時間軸に沿った展示。

事後学習

- 今後の地球環境について
 - ・かつてこれほど繁栄を極めた恐竜がなぜ滅びなければならなかったのかを考えることで、将来に向けて人類が守るべき地球環境について議論する。

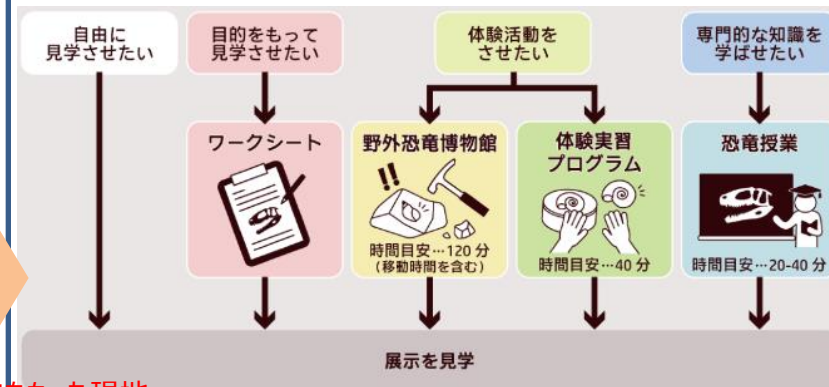
事前

現地

事後

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：約1～5時間》



目的をもった現地学習をサポートするワークシート



問い合わせ

福井県立恐竜博物館／野外恐竜博物館

勝山市村岡町寺尾51-11 TEL/0779-88-0001

- 受入可能人数：完全予約制（野外恐竜博物館は平日1回30名）
- 料金等詳細は『福井県立恐竜博物館』HPを参照
<https://www.dinosaur.pref.fukui.jp/>

東尋坊「崖育」探究学習ワークシート



東尋坊



三国港突堤

学習のねらい

「崖育」探究ワークシートでは、火山岩への理解を深めることが出来ることはもちろんのこと、先人の知恵やそれに伴う現代の私たちの生活への恩恵などを学ぶことが出来ます。

※「崖育」とは、東尋坊の侵食による海食崖を見学・探究することにより、自然環境への興味関心を持ってもらいたいという考えでつけたオリジナルの造語です。



学習プログラムの内容

福井県坂井市にあり、修学旅行先によく選ばれている「東尋坊」という国の天然記念物・名勝を活用した探究学習ツールを作成しました。事前学習として、東尋坊の形の理由、東尋坊の岩が三国港突堤にある理由について考えます。当日は実際に現場に行き、東尋坊の火山岩を観察するなど用意された現地ワークを体験した後、最後に事後学習として分かったことや感想を壁新聞にまとめることで、発表する力を養います。（ワークシートは、個人またはグループ単位で使用することが出来ます。）

その他、現地ワークについては、**東尋坊を専門的に案内できる「東尋坊マイスターによるガイドツアー」**と組み合わせることも可能です。



事前学習

お題に対してグループで議論する。

- ・東尋坊はどうしてこんな形なの？
- ・東尋坊の岩がなぜ三国港突堤にあるの？

事前

現地での学習

実際に火山岩にふれて観察をしてみる。

- A. 実際に歩いてみよう。 B. 東尋坊で岩を切り出した跡を見てみよう！ C. 東尋坊の岩石の組織を観察し、スケッチしてみよう！ D. 横断面の大きさを比べてみよう！

現地

事後学習

学習の成果を壁新聞にまとめて発表する。

事後

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：約2時間》

ワーク①



岩を削りだした跡を見てみよう

ワーク②



岩石の組織をスケッチしよう

ワーク③



横断面の大きさを比べてみよう



問い合わせ

一般社団法人DMOさかい観光局

住所/ 坂井市三国町北本町2-1-20 TEL/0776-82-1555

■ 受入可能人数：ワークシートの在庫数による

■ 料金：50円/部 ※送料は別途。ご案内チラシは下記より。

<https://www.fuku-e.com/business/educational/index.html>

奇跡の堆積物「年縞」から、7万年分の地球の歴史を学ぶ



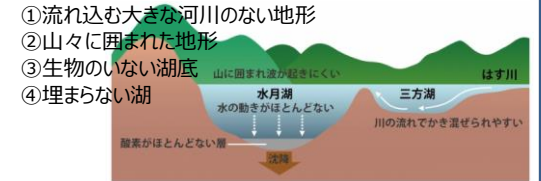
学習のねらい

現生人類（ホモ・サピエンス）は少なくとも20万年前にアフリカで誕生し、約7万年前から世界各地へと生存の場を広げました。水月湖の7万年の「年縞」はその歴史と一致。水月湖年縞を歴史の「ものさし」の目盛りとして、過去7万年間に人類が経験したできごとをたどり、今後の地球環境について考えます。



学習プログラムの内容

化石や考古遺物などの年代測定の「世界標準のものさし」となった水月湖の年縞を展示する博物館。年縞の実物展示のほか、水月湖年縞を歴史の「ものさし」の目盛りとして、過去7万年間の人類や地球環境の歴史について学ぶことができます。また、長年にわたる年縞研究の成果から、過去から学ぶ人類の英知を感じ取り、将来の地球環境について考えるきっかけを与えてくれます。



事前学習

- 年縞とは何か
 - ・湖底堆積物である年縞について学ぶ。

現地での学習

- 常設・企画展示
 - ・7万年分の年縞から人類の歴史について学ぶ。
- 年縞講座
 - ・学芸員による講座を通して年縞や人類史の理解を深める。
- ワークシート
 - ・ワークシートを活用し、人類史、地層、古気候学などについて効果的に学ぶ。

事後学習

- 年縞の意義
 - ・水月湖年縞の2つの大きな意義について考える。
- 世界一の年縞ができた条件
 - ・水月湖年縞ができた奇跡的な3つの条件を考える。

事前

現地

事後

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：約3時間》

レインボーライン山頂公園 (30分)

三方五湖を眺望。5つの湖は水質や水深が違い、全て濃さの違う青色に見えることから「五色の湖」と呼ばれている。

年縞講座 (45分)

学芸員から年縞や人類史について学ぶ

館内見学 (45分)

目的をもった現地学習をサポートするワークシート



問い合わせ

福井県年縞博物館

若狭町鳥浜122-12-1 TEL/0770-45-0456

- 受入可能人数：60名（ガイドは生徒約20名につき1名）
- 料金等詳細は福井県教育旅行ガイドブック『学び旅』を参照

<https://www.fuku-e.com/business/educational/index.html>

今に蘇る戦国城下町で学ぶ、日本歴史の変遷



学習のねらい

戦国時代の城下町の様子を現代に残す遺跡であり、当時の様子を知る上での重要な資料が残されています。戦国時代の生活様式や戦国武将の繁栄と衰退を学ぶことで、日本の歴史に対する深い知識を得ることができます。



学習プログラムの内容

事前学習として、戦国時代の起こりと終焉について調べます。現地では、一乗谷朝倉氏庭園、復原町並、一乗谷朝倉氏遺跡博物館の3か所で、当時の生活様式や文化を学ぶことができます。また、博物館では体験コーナーもあるので、楽しく学ぶことができ、日本の歴史を深く学ぶことができます。



事前学習

- 戦国時代の背景調査
 - ・戦国時代の起こりと終焉について調べる

事前

現地での学習

- 一乗谷朝倉氏庭園
- 復原町並
- 一乗谷朝倉氏遺跡博物館
 - ・それぞれのエリアにて、当時の生活様式や文化を学習、博物館では、考古学の道具を使うなどの体験も可能

現地

事後学習

- 生活様式の変化
 - ・当時と現在の生活様式の変化について考える

事後

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：約2時間》

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館 (60分)

一乗谷概要説明映像鑑賞 (約10分)
館内見学 (約50分)

バス移動約5分
(徒歩移動約25分)

一乗谷朝倉氏遺跡見学 (50分)

三庭園および館跡見学の後、復原された武家屋敷や町並みを歩く



問い合わせ

①一乗谷朝倉氏遺跡復原町並 (福井市城戸ノ内町28-37) 0776-41-2330

②福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館 (福井市安波賀中島町8-10) 0776-41-7700

- 受入可能人数：①制限なし ②1日4部制 各600名
- 料金等詳細は福井県教育旅行ガイドブック『学び旅』を参照
<https://www.fuku-e.com/business/educational/index.html>

北前船の歴史から経済の発展と物流の変遷を辿る



学習のねらい

江戸時代、北海道から西日本を結んだ航路は経済の大動脈であり、この航路を利用した商船は「北前船」と呼ばれました。「海の総合商社」とも言われる日本海五大船主の一つ「北前船主の館右近家」での現地学習を通じて、地域の発展に大きく貢献した北前船の栄枯盛衰から、社会や経済の発展と物流の変遷について考えます。



学習プログラムの内容

「北前船」とは、江戸時代中期から明治時代にかけて商品を売り買いしながら、当時の大阪（大坂）から蝦夷地（北海道）まで日本海廻りで往復した海運船のことです。いわば「海の総合商社」で、鯨肥の需要の拡大と商品価格の地域差を利用して一攫千金を狙える買積廻船でした。各地の産物や生活物資のほか、人の移動、文化の伝播により日本の経済発展に貢献しました。地域の発展に大きく貢献した北前船の繁栄と衰退を学び、社会・経済の発展と物流の変遷の関りから、現在の課題と将来に向けてどうしたら良いか考えます。



事前学習

- ・なぜ北前船の航路が発展したかについて調べる。
- ・北前船の航路や運んでいたものについて調べる。（食料品・工芸品・文化等）
- ・なぜ福井県では昆布の消費量が多いのか考える。

事前

現地での学習

- 北前船主の館右近家を見学（ガイドあり）
 - ・北前船の果たした役割について学ぶ。
 - ・なぜ西洋館を造ったのかその理由を考える。
- 北前船主通りを散策（ガイドあり）
 - ・家並にどんな特徴があるか、工夫があるか考える。

現地

事後学習

- ・隆盛を極めた北前船がなぜ衰退したのか考える
- ・北前船が地域にもたらした恩恵についてまとめる
- ・社会・経済の発展と物流の変遷の関りから、現在の課題と、将来に向けてどうしたら良いか考える

事後

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：約2時間》

北前船主の館右近家（右近邸・西洋館）（70分）

資料館として開放されている邸宅内では、貴重な航海用具や船筆筒などの展示をガイドの解説とともに見学。

河野北前船主通り散策（30分）

右近家や中村家といった船主邸や、船頭・水夫の家並などをガイドの解説とともに見学。



「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」が2017年日本遺産に認定。

問い合わせ

北前船主の館右近家

南越前町河野2-15 TEL/0778-48-2196

- 受入可能人数：40名（ガイドは生徒約20名につき1名）
- 料金等詳細は『北前船主通り』観光サイトを参照

<https://www.minamiechizen.com/kitamaebune/index.html>

産業観光のルーツを学ぶ旅！ めがねの聖地「さばえ」



めがねのまちさばえ

Sabae Japan Eyeglasses



学習のねらい

福井県鯖江市は、眼鏡、漆器、繊維を三大地場産業とする産業がとても盛んな地域。技術を継承しながら時代に合わせたものづくりを続けており、ものづくりの担い手として産地に移り住む若者も増えている。この地域を産業観光を通じて、10年・100年先も持続可能な地域にするために考える。



学習プログラムの内容

「世界三大眼鏡生産地」のひとつ、福井県鯖江市は日本のメガネフレーム生産90%以上のシェアを誇り、「国産のめがねの祖」とも呼ばれる増永五左衛門が、大阪からめがね職人を招き、農家の副業として広めたことから始まりました。その歴史を学びながら、分業でおこなわれているめがね作りの、材料・製造・レンズなどといった工房をそれぞれ実際に見学にて、ものづくりの大変さと移り変わる時代を体感！



事前学習

めがねの歴史や基本情報を事前に予習しよう

現地での学習

産業観光の1つ「めがね」のルーツを学ぶ！

- ワーク1: まずは、めがねの歴史を知ろう！
- ワーク2: そして、めがねの材料の工房見学
- ワーク3: 160工程以上の製造技術を学ぶ！
- ワーク4: カフェ隣接のレンズパークでレンズの仕組みを学んだあとは、最後のお楽しみソフトクリーム付

事後学習

1. 「情報を整理・分析」現地で収集した情報をわかりやすく整理する
2. 「アウトプット」学んだことをまとめ、みんなに共有・発表する

事前

現地

事後

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：約4時間》

ワーク1



めがねミュージアムでめがねの歴史を知ろう！

ワーク2



めがね製造に使う全ての材料を取り扱うKISSOを見学

ワーク3



プラスジャックで、160工程以上の眼鏡製造技術を学ぶ！

ワーク4



最後は、レンズパークでレンズの仕組みを学ぶ！



問い合わせ

一般社団法人SOE

住所 / 鯖江市片山町7-10-4 TEL / 0778-78-9967

- 受入可能人数：20名(21名以上は要相談)
 - 料金等は一般社団法人SOEまでお問い合わせ下さい
- HP / <https://craftinvitation.jp/contact/>

産業観光のルーツを学ぶ旅！ 越前漆器のまち「河和田」



学習のねらい

福井県鯖江市は、眼鏡、漆器、繊維を三大地場産業とする産業がとても盛んな地域。技術を継承しながら時代に合わせたものづくりを続けており、ものづくりの担い手として産地に移り住む若者も増えている。この地域を産業観光を通じて、10年・100年先も持続可能な地域にするために考える。



学習プログラムの内容

始まりは1500年以上前。継体天皇が河和田で作られた器を気に入り、河和田を漆と漆器の生産地として奨励したのが越前漆器のはじまりと言われています。全国の外食分野で使われる業務用漆器の約80%は越前漆器産地で生産されています。その歴史を学びながら、分業でおこなわれている越前漆器作りの木地→塗り→蒔絵などといった工房を実際に見学し、実際に職人さんと一緒に絵付け体験も学ぼう！



事前学習

越前漆器の歴史や基本情報を事前に予習しよう

事前

現地での学習

産業観光の1つ「越前漆器」を学ぶ！

- ワーク1: まずは、越前漆器の歴史を知ろう
- ワーク2: 漆器の神様が祀られる漆器神社参拝
- ワーク3: 越前漆器の分業の製造工程を学ぼう
(木地 → 塗り → 蒔絵)
- ワーク4: 最後に職人さんと絵付け体験
絵筆で素材に絵付けして職人気分！

現地

事後学習

1. 「情報を整理・分析」現地で収集した情報をわかりやすく整理する
2. 「アウトプット」学んだことをまとめ、みんなに共有・発表する

事後

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：約4時間》

ワーク1



うるしの里会館で越前漆器の歴史を知ろう！

ワーク2



漆器の神様が祀られる漆器神社参拝階段はいい運動！

ワーク3



越前漆器の分業の製造工程を学ぶ！
木地→塗り→蒔絵

ワーク4



最後は、職人さんと一緒に絵付け体験で職人気分！



事前・事後学習をトータルでサポートする学習教材がセット

問い合わせ

一般社団法人SOE

住所 / 鯖江市片山町7-10-4 TEL / 0778-78-9967

■受入可能人数：15名(16名以上は要相談)

■料金等は一般社団法人SOEまでお問い合わせ下さい

HP / <https://craftinvitation.jp/contact/>

禅の心と向き合う旅



禅は世界に誇る日本文化アップルの創業者・スティーブ・ジョブズも生涯、永平寺を訪れることを熱望していました。海外との接点が増えるこれからの若者は日本文化の知識、体験が不可欠です。禅の本場ならではの修行道場で貴重な体験を！

学習のねらい

禅文化を学び、心を整え、自分自身と向き合う

現在も約150名の僧が修行に励む日本最大の禅の修行道場『曹洞宗大本山永平寺』にて、仏法に関する話を聞いたり、坐禅体験を通じ自己を見つめ直すことで、豊かな人間性の形成につながります。



学習プログラムの内容

曹洞宗大本山永平寺は、現在も多くの僧が修行に励む日本最大の禅の修行道場。食べ物や水などを無駄にせず大切に丁寧に頂くという修行生活の実践や、困難を抱え生きている人々の苦しみを少しでも和らげることができるようお願い行動するという菩薩行の実践といった禅の教えは、「誰一人取り残さない社会の実現」というSDGsの理念と深く繋がっています。坐禅体験を通して自分を見つめ直し、将来どういう自分になりたいのかについて考えることができます。



事前学習

- 禅の教えについて
- ・「行学一如（ぎょうがくいちによ）」の精神を学ぶ

事前

現地での学習

- 七堂伽藍
- ・「山門」「仏殿」「僧堂」「庫院」「東司」「浴司」「法堂」と呼ばれる7つのお堂です。日常の修行に欠かせない重要な建物で、当時の建築様式や修行僧の生活の様子を垣間見ることができます。
- 大講堂
- ・「吉祥閣（きちじょうかく）」の2階にある大広間では、250名以上が一堂に坐禅体験ができ、身も心も静寂になります。

現地

事後学習

- 日常生活と禅とのかかわりについて考える
- ・社会生活の中で禅の教えをどう活かすかを議論する

事後

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：約2時間程度》

坐禅講話及び坐禅体験（全体で約60分）

大講堂にて坐禅体験

諸堂拝観（60分）

修行僧のご案内で境内を拝観

【OP】 その他、地元の語り部（ボランティアガイド）による永平寺（外拝観）や門前のご案内も可能（約60分）



永平寺町観光ボランティアガイドの会
（注）ボランティアガイドは永平寺の境内の中のご案内はできません。

問い合わせ

曹洞宗大本山永平寺

永平寺町志比5-15 TEL/0776-63-4361（参禅係）

- 受入可能人数：坐禅・法話体験は150名（1回あたり）
- 料金等詳細は福井県教育旅行ガイドブック『学び旅』を参照
<https://www.fuku-e.com/business/educational/index.html>

永平寺町観光ボランティアガイドの会
永平寺町松岡神明
TEL/0776-61-1188
■ 料金等詳細は『ふくいドットコム』を参照
https://www.fuku-e.com/spot/detail_4966.html

禅の精神を身につけ、集中力を鍛える



学習のねらい

旧福井藩主・松平家の菩提所として創建当時の姿を残す「大安禅寺」。国の重要文化財にも指定されている歴史的な寺で、法話、坐禅、写経などを通して禅の精神を身近に学ぶことができます。



学習プログラムの内容

事前学習として、仏教の各宗派の違いや考え方を学びます。現地では、副住職が丁寧にわかりやすく坐禅の指導を行い、坐禅や写経体験などを通して、自己の心を見つめることができます。また、玄峰和尚によるわかりやすい説法を体験することができ、「禅」に対して理解を深めることができます。



事前学習

- 仏教、様々な宗派について事前学習
- ・ 仏教と各宗派の違いや考え方を学ぶ

事前

現地での学習

- 坐禅・写経体験
- ・ 普段の喧騒を離れ、坐禅や写経体験を通して、自己の心を見つめる
- 玄峰和尚の生き生き法話
- ・ 「仏教」や「禅」の教えを現代社会にあてはめ、わかりやすい説法を体験

現地

事後学習

- 「禅」について考える
- ・ 体験で感じた宗教観や禅の精神について討論する

事後

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：約1時間30分～2時間》

案内-坐禅説明 (30分)

お寺や坐禅体験に関する説明を聞く

坐禅体験 (40分)

枯木堂にて坐禅体験

自由拝観 (30分)

枯木堂にて坐禅体験



問い合わせ

臨済宗妙心寺派 萬松山 大安禅寺

福井市田ノ谷町21-4 TEL/0776-59-1014

- 受入可能人数：法話/200名 坐禅・写経/80名
- 料金等詳細は福井県教育旅行ガイドブック『学び旅』を参照

<https://www.fuku-e.com/business/educational/index.html>

敦賀式平和学習～なぜ「人道の港」と呼ばれるのか～



学習のねらい

差別、争いなどからある日突然、弱者の立場になり得ることやそういった立場の人とどう接するのかを考えるきっかけとなります。
ポーランド孤児、ユダヤ難民の辿った苦難を知ることを通じて、より身近に平和の大切さなどを感じることができます。



学習プログラムの内容

金ヶ崎緑地と呼ばれるウォーターフロント一体にある施設「人道の港 敦賀Museum（主に平和学習）」、「敦賀鉄道資料館（主に欧 亜国際連絡列車など鉄道の歴史）」、「敦賀赤レンガ倉庫（主にジオラマで敦賀市の歴史を学ぶ）」を散策しながら、平和学習・グループ活動ができます。



事前学習

- ・敦賀市の紹介
- ・「人道の港敦賀」の概要
- ・テーマの投げかけ「なぜ敦賀市だったのか」、「なんでシベリアにポーランド孤児がいたのか」、「ユダヤ難民とは」

現地での学習

- ・敦賀鉄道資料館（旧敦賀港駅舎）
敦賀の鉄道、欧亜国際連絡列車などの歴史を学び、なぜ孤児や難民が上陸したのが敦賀港だったのかを学ぶ
- ・敦賀赤レンガ倉庫
昭和初期の敦賀のまちなみを再現したジオラマを見てもらい、事前学習した当時の敦賀の背景などを感じる
- ・人道の港 敦賀Museum
港町として発展してきた敦賀市の歴史を基礎に、孤児・難民を敦賀市民との交流の様子、現在まで続く彼らの感謝の気持ちなどを伝える

事後学習

事前学習と現場学習を踏まえたワークショップ・発表会

事前

現地

事後

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：約3時間》

きらめきみなと館でオリエンテーション（30分）

事前学習の振り返り、敦賀港の歴史について説明



敦賀鉄道資料館・敦賀赤レンガ倉庫・人道の港敦賀Museum（100分）

3施設での現地学習



きらめきみなと館でまとめ（30分）

DVD鑑賞と3施設を周遊した感想の共有（メッセージカードに記入）

問い合わせ

一般社団法人 敦賀観光協会

敦賀市神楽町2-2-4（アクアアトム1階）TEL/0770-22-8167

■ 受入可能人数：120名

■ 料金等詳細は福井県教育旅行ガイドブック『学び旅』を参照

<https://www.fuku-e.com/business/educational/index.html>



エネルギー生産現場で知る、日本のエネルギー事情

敦賀火力発電所



美浜原子力発電所



学習のねらい

福井県は数多くの原子力発電所が立地するなど、関西圏の一大エネルギー生産地です。そんな福井県のエネルギー施設での体験プログラムを通して、日本のこれからのエネルギーについて考えるプログラムです。



学習プログラムの内容

多様なエネルギー源とその特徴、エネルギーの安定供給の確保、地球温暖化とエネルギー問題、脱炭素に向けた取り組みの4つの学習ポイントから日本のエネルギー事情を探究するプログラムです。事前学習として、地球温暖化の影響、エネルギー生産にはどのようなものがあるのかを学習し、火力チーム、原子力チーム、再生可能エネルギーチームに分かれてメリット、デメリットを考えます。当日は、実際に生産現場に行き、資源がどこから運ばれどのようにエネルギーを作るのかを体験した後で、各チームで学習した内容を取りまとめ、発表会を行います。最後に、事後学習として日本の脱炭素に向けた取り組みや、将来に向け、安全性や経済性、エネルギー自給などを踏まえ、どのような方向性が必要なのかを考えます。



事前学習

- 石炭火力チーム、原子力チーム、再生可能チームの3チームに分かれて事前学習
- ・地球温暖化の影響 ・エネルギー生産の種類
- ・エネルギー生産方法ごとのメリットとデメリット など

事前

現地での学習

- 石炭火力チーム ⇒ 敦賀火力発電所
- 原子力チーム ⇒ 美浜原子力発電所
- 再生可能チーム ⇒ きいばす
- ・それぞれのエネルギー施設に分かれて、チームごとにプログラムを体験し、最後に3チームが集まり、事前と現地学習を踏まえたワークショップ、発表会を開催

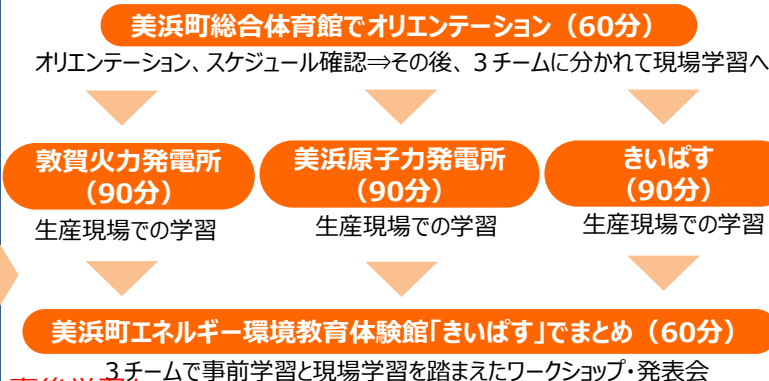
現地

事後学習

- 日本のこれからのエネルギーについて考える
- ・脱炭素に向けた取り組み(地域を守る)を考え、日本の社会情勢、安全性、経済性、自給性を踏まえ、どうしたら良いか？ 私たち個人は何ができるか考える

事後

現地でのタイムスケジュール 《所要時間：約4時間》



生産現場では実際に働いている方からのお話を聴きます。(イメージ)



体験中の生徒の様子 (イメージ)

事前・事後学習をトータルでサポートする学習教材がセット



問い合わせ

一般社団法人 COLORsプラス

美浜町木野21-4-1 (旅工房内) TEL/0770-32-2222

■ 受入可能人数：35名×3チーム (合計105名)

■ 料金等詳細は『若狭美浜はあとふる体験』HPを参照

<https://tabikobo-jpn.com/education/heartful/heartful.html>

地域のエネルギー資産で学ぶカーボンニュートラル



美浜町エネルギー環境教育体験館
「きいばす」



学習のねらい

きいばすでは、日々変化する世界のエネルギー情勢に合わせ、エネルギー環境教育の分野において取り組むべき喫緊のテーマに沿った体験学習が可能です。

「2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ」目標の背景、達成方法や課題など、最先端のエネルギー学習プログラムが体験できます。



学習プログラムの内容

きいばすでは2050年カーボンニュートラル達成に向けて進められているさまざまな取組について理解してもらうため、体験的に学べるプログラムを提供しています。カーボンニュートラルを実現するには家庭で利用するエネルギーはすべて電力になると考えられています。今後、一層重要性を増していく電力について当館で学び、社会実装された先進地の視察や見学を行うことで、未来のエネルギー利用について充実した探究活動ができます。



事前学習

■カーボンニュートラルって何だろう？

- ・地球温暖化を防ぐために、世界の国々がさまざまな対策に取り組んでいます。日本が2050年の目標にむけて進めていることについて調べよう。

現地での学習

■講座

- ・カーボンニュートラルをめざすエネルギー利用について

■館内体験ツアー（小グループに分かれて）

■これからのエネルギー利用に関わる体験（選択）

- 例1）未来の乗り物「電池推進遊覧船」への乗車
- 例2）園芸LABOの丘での体験学習
- 例3）発電所見学と質疑応答

事後学習

- ・世界の温暖化対策について探究してみよう
- ・自分たちが住む地域のカーボンニュートラルについて探究してみよう

事前

現地

事後

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：約1時間～3時間》

館内体験ツアー（60分）



バッテリーカー体験



エネルギーメータ発電体験



消費電力の見える化

電気を届ける仕組み。電気を賢く使う。日本のエネルギーバランス
※各グループに当館のスタッフが対応します。

電池推進遊覧船（60分）

運輸



園芸LABOの（60分）

食



発電所（60分）

発電



問い合わせ

美浜町エネルギー環境教育体験館きいばす

美浜町丹生62-1 TEL/0770-39-1116

- 受入可能人数：約35名（1回あたり）
 - 料金等詳細は美浜町エネルギー環境教育体験館きいばすまで。
- kiipasu-m@town.fukui-mihama.lg.jp



木質バイオマスエネルギーを利用した循環型社会を体験



学習のねらい

『エネルギーの地産地消』による循環型社会を目指すあわら市の取り組みを、実際に人々の生活へエネルギーが循環する現場を体験することで、SDGsにとって最も大切な社会のバランスについて考え、自分たちが生活の中でできることを考えます。



学習プログラムの内容

あわら市と坂井市は約6割が森林地帯。この森林を維持・保護するために、大量に排出される間伐材を木質チップにして、あわら温泉各施設のボイラーに利用する取り組み（地域内エネルギー循環）を進めています。地元の間伐材をエネルギー化し、地元で消費する取り組みはまさに『エネルギーの地産地消』と言えます。木質チップの製造現場を見学するほか、あわら温泉の宿泊施設で実際に熱供給、利用されているボイラー施設を見学し、あわら市のSDGsの取り組みを学びます。



事前学習

- ・そもそも間伐とはどのようなことだろうか？
- ・日本の森林資源はどのように活用されているか？
- ・『エネルギーの地産地消』とはどのような意味だろうか？

現地での学習

- バイオマスセンター・リサイクルセンター見学
- 風力発電施設見学
- ボイラー施設見学

- ・それぞれ専門のガイドによる案内付き
- ・エネルギーが循環する現場に立ち会うことで、地域で完結することの意義を身をもって学びます

事後学習

- あわら市の取組から自分たちにできることを考える
- ・学んだことをまとめ、私たち個人は何ができるか考える
- ・持続可能な循環型社会とは何か、自分たちの地域に置き換えて、将来どういう地域にしたいか考える

事前

現地

事後

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：移動含め約2時間30分》

間伐材を燃料に変える現場を見学

① バイオマスセンター・リサイクルセンター見学 (30分)

120名の場合は3班に分かれてローテーション。
40名の場合は左記①～③の順に体験。

③ ボイラー施設見学 (30分)

あわら温泉の宿泊施設に熱供給されている現場を見学



② 風力発電施設見学 (15分)

あわら市28,000世帯の電力をカバーできる10基の風車

さらにオプションで右記の体験も可能です。

まき割り体験 (チームビルディング) (50分)

林業関係者などのお話と指導により間伐材に直接触れて体験

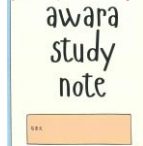
森林・環境に関する講話 (20分)

森林の役割や環境と社会の調和について学ぶ



目的をもった現地学習をサポートする

ワークシート



問い合わせ

一般社団法人 あわら市観光協会

あわら市二面33-1-5 TEL/0776-78-6767

■ 受入可能人数：40名×3ローテーション (合計120名まで可能)

■ 料金等詳細はあわら市観光協会に問合せ

<https://awara.info/>

生産者から学ぶ循環型社会を体験



学習のねらい

1シーズンで約60トンも廃棄処理されていた、蟹ガラを利用した循環型エコプロジェクトの取り組みを、農業者から消費者の生活への流れを、自ら体験をすることで、SDGsにとって最も大切な社会のバランスについて考え、自分たちが生活の中でできることを考えます。



学習プログラムの内容

あわら温泉に宿泊し、生産者と農作業や収穫、商品加工を体験し、温泉旅館で消費者体験をする「循環型社会システム体験学習プログラム」です。エコロジカルでエシカルな視点を養う「商品づくり体験」を温泉旅館や市内の各拠点で体験できます。体験を通じて未来を切り拓く可能性を探る。SDGsを踏まえた問題解決型・実践プログラムです。



事前学習

- ・生ゴミとして廃棄されているゴミ問題
- ・様々な立場での考え方・関係性
- ・食品ロスについて考えてみよう

事前

現地での学習

- 循環型エコシステム「あわら蟹ガラプロジェクト」について紹介
- カレンデュラハンドクリームづくり体験
- ・生ゴミが、飼料→農産品・花→商品と循環する現場に立ち会うことで、地域で完結することの意義を身をもって学びます

現地

事後学習

- あわら市の取組から自分たちにできることを考える
- ・学んだことをまとめ、私たち個人は何ができるか考える
- ・持続可能な循環型社会とは何か、自分たちの地域に置き換えて、将来どういう地域にしたいか考える

事後

現地でのタイムスケジュール

① 循環型社会システムの紹介 (20分)

② カレンデュラのハンドクリームづくり体験 (40分)

※160名の場合は2班に分かれてローテーション。
※会場費別途要 (各施設によって異なる)

《所要時間：約1時間》



宿泊施設での蟹ガラの回収



カレンデュラ畑に散布



チームに分かれてハンドクリーム作り



目的をもった現地
学習をサポートする

ワークシート



問い合わせ

一般社団法人 あわら市観光協会

あわら市二面33-1-5 TEL/0776-78-6767

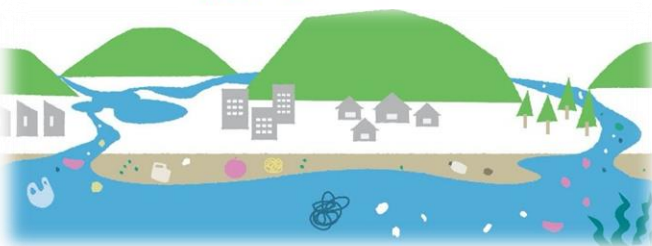
■ 受入可能人数：80名 (ローテーションで合計160名まで可能)

■ 料金等詳細はあわら市観光協会に問合せ

<https://awara.info/>

「海ごみ」に学ぶ。若狭の海 de SDGs

若狭の海 de SDGs



学習のねらい

若狭湾の海岸に漂着した「海ごみ」(海洋プラスチックなど)の回収や「アップサイクル」を通して、目の前の、そして世界的な社会問題を科学的な視点でとらえ、考え、学びます。



学習プログラムの内容

福井県若狭湾の海岸に漂着した「海ごみ」(海洋プラスチックなど)を、ビーチクリーンで回収し、種類ごとに分別して重さや容積、個数、製造国などを調べます。目の前の、そして世界的な社会問題を科学的な視点でとらえ、具体的な対策や自分たちができることをグループディスカッションなどを通じて考えます。 ※オプションプログラムとして、分別した「海ごみ」を洗浄・乾燥・粉砕・熔融・成形して「新たな価値」をうみだす「アップサイクル」のデモンストレーションやクラフト製作を行うこともできます。



事前学習

【事前・事後ともワークシート使用】①みなさんにとって海はどんなところか?②海にはどんなゴミが多いと思うか?③海にゴミが多いと、なぜ良くないのか?④誰が困るのか?などについて考えます。

事前

現地での学習

ビーチクリーンの後、若狭湾の「海ごみ」の状況や海ごみ問題に対する取組み、「海ごみ」の発生源と回収・処理の現状、漂着までのメカニズムや国内外の事例など、世界的な社会問題について考えます。

現地

事後学習

①ゴミを出さない・海に流れ込ませないようにするには? (発生源対策) ②海ごみを回収するには? (回収対策) ③回収された海ごみで処分場がいっぱいにならないようにするには? (処理対策) など、自分にできることやこれから知りたいことについて考えます。

事後

現地でのタイムスケジュール

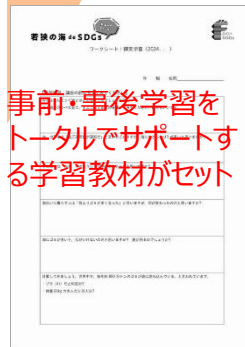
《所要時間：約2～3時間》

- ①イントロダクション 15分
- ②ビーチクリーン 30分
- ③分別・洗浄など 15分
- ④「アップサイクル」デモ & クラフト製作 30分
- ⑤講座 45分
- ⑥ディスカッション 15分

【計150分】 調整可



事前・事後学習をトータルでサポートする学習教材がセット



問い合わせ

若狭三方五湖わんぱく隊 ((一社) 若狭三方五湖観光協会)
若狭町鳥浜122-31-1 TEL/0770-45-0113

- 受入可能人数：40名
- 料金等詳細は福井県教育旅行ガイドブック『学び旅』を参照

<https://www.fuku-e.com/business/educational/index.html>

ブルーフラッグビーチから海的环境について考える



学習のねらい

- ・なぜ、高浜町ではブルーフラッグを取得するのか。そこにどのような意味があるのか。
- ・きれいで安心して誰もが楽しむことができる海を守るためには、どのような人が関わり何に取り組んでいるか。地元の抱える課題は・・・
- ・地元の方との体験（交流）を通じて、自分たちなら普段の生活の中で何ができるか考えてほしい。



学習プログラムの内容

若狭和田ビーチは世界の基準を満たしたビーチです。ビーチを守るために多くの方が携わっています。このプランでは、地元の方と一緒に体験活動を通じて、ビーチを守る活動を楽しんでいただきます。海と日々の暮らしが密着した高浜町だからこそ学べるものがきっとたくさんあるはずですよ。



事前学習

ブルーフラッグと若狭和田ビーチって何？
ライフセービングとブルーフラッグの結びつきについて
海ゴミの問題とそれらの活用について

現地での学習

ライフセービング体験

海の安全を守るために活動しているライフセイバーの取り組み、ブルーフラッグとの結びつきについて知ることができます。

ビーチコーミング・フォトフレーム作り

漂着したゴミや漂着物を観察し、それらの活用や環境について考えましょう。

ビーチスポーツ

若狭和田ビーチでビーチスポーツを行います。裸足でも安心して遊べることを体感していただけます。

事後学習

事前学習やプログラム内で学んだことや気づきが今後の私生活でどのように生かせるかを考えましょう。
体験した生徒に対して感謝状や活動後のビーチの写真などを送り、ビーチクリーンなどの活動に実感を持っていただきます。

事前

現地

事後

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：約6時間》

オリエンテーション（40分）

なぜブルーフラッグを取得し続けるのか？安心・安全に活動するための環境づくりについて話し合います

ライフセービング体験（90分）



ビーチコーミング・フォトフレーム作り（90分）



ビーチスポーツ（90分）



まとめ（30分）

事前学習と現場学習を踏まえたワークショップ・発表会

問い合わせ

一般社団法人 若狭高浜観光協会

大飯郡高浜町宮崎77-1-8 TEL/0770-72-0338

■ 受入可能人数：120名

■ 料金等詳細は福井県教育旅行ガイドブック『学び旅』を参照

<https://www.fuku-e.com/business/educational/index.html>



福井は みなさんの夢の実現 を応援します！



チアドリームプロジェクト

チアダンスで笑顔づくり！ 夢づくり！ 人づくり！

“福井からチアの魅力を発信 社会に元気と笑顔を！”

学習プログラムの内容

『チア☆ダン～女子高生がチアダンスで全米制覇しちゃったホントの話～』は2017年に公開された映画で、福井県の公立高校のチアリーダー部が全米チアダンス選手権で優勝した、という奇跡の実話を映画化したものです。チアドリームプロジェクトはJETSの卒業生を中心に、チアダンスで人と地域を元気にする活動に取り組んでいます。ここでは、「なりたい自分になるために目標を持つことの大切さ」「目標を持つと人は変わる（変わる）」ということを旅マエ～旅ナカ～旅アトを通じて、気づきを得ることができます。

学習のねらい

映画『チア☆ダン』その舞台は福井商業高校チアリーダー部JETS。普通的女子高生が大きな夢を実現した成功の秘訣は何か？
夢を叶えた若者の次なる挑戦を通じて、自己肯定力を高め、自分を、周りを応援したくなります。
人と地域を元気にして幸せと夢にあふれる社会づくりを考えます。



事前学習

・事前学習として映画『チア☆ダン～女子高生がチアダンスで全米制覇しちゃったホントの話～』を鑑賞していただくより理解が深まります。

※オンラインで現地と繋ぐこともご相談に応じます

事前

現地での学習

■【講演】チア☆ダン卒業生が教える夢の叶え方

・「夢は叶う」「人は変わる」という信念を持ち続けることで、夢を現実のものへの引き寄せたJETSの歩みは、聴く人に夢と希望を与えてくれます。部員たちが実践していた「夢ノート」の書き方を中心に、目標を持って日々努力することの大切さを教えてくれます。

現地

事後学習

・実際に夢ノートを活用して、行動を起こしてみる

※オンラインで現地と繋いだ成果発表会などご相談に応じます

事後

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：約1時間～2時間》

【講演】チア☆ダン卒業生が教える夢の叶え方
(60～90分)

福井県内の研修施設や宿泊施設の大広間などで実施
(会場の手配は別途必要です)

【オプション】チア☆ダン卒業生による
ダンスパフォーマンス
(20～30分)

チアドリームプロジェクトのみなさんによるダンスパフォーマンスをご覧ください。全米NO.1の実力を目の当たりにできます



問い合わせ

(一社) チアドリームプロジェクト

福井市御幸4-11-9 東建ビル3階 TEL/0776-24-2740

■ 受入可能人数：要相談（講演会場による。会場手配は別途必要）

■ お問い合わせは、『チアドリームプロジェクト』まで。

<https://cheer-dream.jp/>

info@cheer-dream.jp

SDGsモデル事業選定都市 鯖江市のとりくみに学ぶ

めがねのまちさばえのSDGs ～ジェンダー平等こそが輝く未来への鍵～



学習のねらい

ジェンダーギャップ指数が下位に低迷している日本で、ゴール5「ジェンダー平等」を軸にSDGsを推進している鯖江市の取り組みを知ってもらい、ボードゲームなどの体験によってジェンダー平等について考えるきっかけとなるプログラム。

5 ジェンダー平等を
実現しよう



11 住み続けられる
まちづくりを



学習プログラムの内容

めがね・繊維・漆器などの鯖江市の地場産業は、中小零細で分業体制が多く、女性が経営を担う一員として重要な役割を果たしてきたことから鯖江市は、ゴール5「ジェンダー平等」を軸にSDGsを推進している。その取り組み内容や海外から見た日本のジェンダー平等について学ぶ。また、『避難所で何ができる』や『ジェンダー平等ミステリー』などの鯖江市のオリジナルゲームを体験しながらジェンダー平等やダイバーシティについて理解を深める。



事前学習

鯖江市についての基本情報を学ぶ。

事前

現地での学習

- 鯖江市のSDGsの取り組み紹介等。
- カナダ出身の地域おこし協力隊員による「海外から見た日本のジェンダー平等・多様性の考え方」のレクチャー
- ボードゲーム『避難所で何ができる』や『ジェンダー平等ミステリー』などのゲーム体験を通じてジェンダー平等やダイバーシティを考える。

現地

事後学習

ジェンダー平等の実現に向けての問題点を探り、私たちに何ができるのかどうすればいいのかを考える。

事後

現地でのタイムスケジュール

《所要時間：約4時間》

鯖江市のSDGsの取り組み紹介等（30分）

「海外から見た日本のジェンダー平等について・多様性の考え方」（60分）

「ジェンダーに関するゲーム体験会」（120分）

会場：さばえSDGs推進センター



問い合わせ

さばえSDGs推進センター

住所/鯖江市新横江2丁目3-4 TEL/0778-42-8938

■ 受入可能人数：30名

■ 料金等詳細は福井県教育旅行ガイドブック『学び旅』を参照

<https://www.fuku-e.com/business/educational/index.html> 28

日本を代表する2人の絵本画家・作家のふるさと『武生』をまちあるき！

たけふ



©かこさとし 1973 偕成社



かこさとしふるさと絵本館 碓



©岩崎ちひろ 1973 至光社



「ちひろの生まれた家」記念館

学習のねらい

日本を代表する絵本画家いわさきちひろと、絵本作家かこさとしの故郷は福井県の武生（現越前市）です。2人のルーツ知るために「ちひろの生まれた家」記念館、「かこさとしふるさと絵本館」を巡り、彼らの愛したふるさとの魅力を感じてみましょう。両館をめぐるコースの途中には、まちなか武生エリアがあり、蔵の辻、寺町通り、タンス町通りなどの歴史・文化・伝統産業に触れることが出来ます。



学習プログラムの内容

いわさきちひろ（1918～1974）絵本作家・画家。

福井県武生（現越前市）に生まれる。青春時代の戦争体験から、「世界中の子どもみんなに平和としあわせを」と願い、子どもを生涯のテーマとした。現存する作品は約9,600点にのぼる。

かこさとし（1926～2018）絵本作家、児童問題研究者、工学博士、技術士（化学）。

2018年に92歳で亡くなる。死の直前まで作品を出し続け、生涯で600冊以上の本を遺した。どれも、子どもたちの未来のために力を尽くした本ばかり。絵本のジャンルは物語絵本だけにとどまらず、身体や天気、生物、歴史、建築など、あらゆることを題材とした科学絵本や、遊びの絵本、紙芝居、研究書や読み物など多岐にわたる。

当プログラムでは、両館を巡って、2人の生き方や作品から感じられる平和への願いと、子どもたちへの思いについて考えていただきます。

事前学習

- 2人に関連するwebサイトを閲覧し、プロフィールをはじめ、作品や画業について知ってもらう。

ちひろ美術館公式webサイト <https://chihiro.jp/>

かこさとし公式webサイト <https://kakosatoshi.jp/>

※プロフィールや作品紹介等の情報をご覧ください。

現地での学習

「ちひろの生まれた家」記念館では、ちひろさんの画業を簡潔にまとめたコーナーやアトリエ（画机の複製）の展示をはじめ、ギャラリーでは年4会期の展覧会を鑑賞いただけます。また、ちひろさんの絵本などを多く揃えた図書コーナーや、母・文江さんとちひろさんの誕生などを紹介する映像コーナーもあります。「かこさとしふるさと絵本館」では、『だるまちゃん』や『からすのパンやさん』シリーズをはじめとする歴代の絵本を自由に閲覧できるほか、幼少期からの貴重な写真や越前市との関りがわかる資料・年表のほか、通年テーマを設けた企画展（複製原画の展示）を鑑賞いただけます。また、館内には「越前指物」職人による家具類や、「越前和紙」が使われた時計、「越前打刃物」のアート作品など、地域の伝統産業が感じられる工夫も見どころです。

事後学習

現地での学習を踏まえて、ちひろさんとかこさんの作品を再読し、2人が願った平和や、子どもたちへの思いを考えていただく。

事前

現地

事後

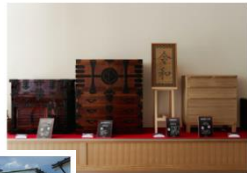
現地でのタイムスケジュール

《所要時間：約4時間》

「ちひろの生まれた家」記念館にて、資料や企画展を鑑賞する。（約1時間）

- 「タンス町通り」で、国の伝統的工芸品に指定された越前草笥の職人気質が漂うまちなみを散策。
- 「蔵の辻」で、商店街に囲まれた木造店舗や白壁の蔵が立ち並ぶ風情溢れるレトロな空間を散策。
- 「寺町通り」では、由緒ある社寺が軒を連ね、石畳の道に石灯笼やつり灯笼が並ぶ歴史あるまちなみを散策。（約2時間）

「かこさとしふるさと絵本館」にて、絵本や資料、企画展を鑑賞する（約1時間）



越前草笥



蔵の辻



寺町通り

問い合わせ

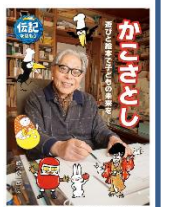


ちひろのアトリエ（復元）

- 「ちひろの生まれた家」記念館（受入可能人数：1回 5～6名）
越前市天王町4-14 TEL/0778-66-7112
- 越前市かこさとしふるさと絵本館「碓」（受入可能人数：最大100名）
越前市高瀬一丁目14-7 TEL/0778-21-2019
- 料金等詳細はHPを参照

「ちひろの生まれた家」記念館 <https://chihirooie.jp/>
越前市かこさとしふるさと絵本館「碓（らく）」

https://www.city.echizen.lg.jp/office/090/060/kakosatosi/ehonkan_home.html



敦賀市内班別自主研修～見どころがコンパクトにまとまっているまち～

観光ボランティアガイドつるが

『敦賀の街案内はおまかせあれ！』

鉄道と港の歴史に関連した二つの日本遺産を始め、魅力ある「敦賀のみどころ」をご案内しています。会員数は現在29名。ガイド料は無料です。ただし、交通費として2時間毎1,000円が必要。



敦賀高校（創生部）の生徒さんと一緒に

『私たちが育った街を見てほしいな』

敦賀高校創生部では、地方創生や地域活性化を念頭に、地域と一緒に様々な活動に取り組んでいます。ホロコーストの研究に始まり、敦賀の歴史を学び、敦賀のために何かしたいと、敦賀ムゼウムでのガイドを始めました。部員は現在50名。ただし、部活動として行っていますので、実際の受入れの可否については要相談。



日本海側の要衝である敦賀は、古くから大陸との玄関口として栄えてきた港町です。明治15年(1882)、敦賀―長浜間に鉄道が開業し、敦賀は日本海側で初めて鉄道が走った町となりました。そして、明治～昭和初期にかけて、敦賀港には、ロシア・ウラジオストクとの直通定期航路が開設され、東京とパリを結ぶ欧亜国際連絡列車の中継地として大変にぎわいました。そのため、敦賀に今なお残る近代港湾・鉄道にまつわるレトロ浪漫スポットが多数あります。



大野市内班別自主研修～北陸の小京都を歩いて散策～



観光ボランティアガイド大野

『大野の街案内は
おまかせあれ！』

越前大野城を中心に、造り酒屋や町なかに点在しているお清水等、城下町には見どころが沢山あります。会員数は現在19名。ガイド料は無料です。ただし、交通費として1,000円が必要。



大野市は福井県の東部に位置し、日本百名山の一つである荒島岳など白山の支脈の山々に囲まれ、清らかな水と豊かな食に恵まれた、歴史、文化、伝統が息づく県の東の玄関口として発展してきました。中心部には、織田信長に仕えた部将である金森長近が築城した大野城を中心に城下町が広がり、その歴史的な風情やまちなみから、北陸の小京都と呼ばれています。



福井市内班別自主研修～見どころがコンパクトにまとまっているまち～

福井市歴史ボランティア「語り部」

『福井の街案内はおまかせあれ!』

「北の庄城址公園」、続百名城「福井城址」、「足羽山」、国指定名勝「養浩館庭園」、「一乗谷朝倉氏遺跡」など福井市内の見どころを、お客様のご要望に合わせてご案内しています。会員数は現在70名。ガイド料は無料です。ただし、交通費として2時間毎1,000円が必要。



福井市内は路面電車やバスも便利!



養浩館・福井城址
エリア

半径約1.5km
の間に見どころ
が満載

足羽山
エリア

北ノ庄城
エリア

福井駅前
エリア



福井は足羽川・日野川・九頭竜川の扇状地として発展し、古くから北陸道の要衝として栄えてきました。今日まで残されている様々な歴史的遺産により、先人たちの生きた福井に思いを馳せることができます。戦国時代の武将柴田勝家の北ノ庄城時代から城下町として都市形成をはじめ、江戸時代には石高68万石を数える大城下町となりました。福居、福井と地名を変えた親藩統治を経て、現在もなお県政の中心として福井城本丸跡に福井県庁があります。江戸時代の福井は日本屈指の大都市で朝倉氏滅亡後一乗谷から移転した文化人の影響もあり華やかな文化や行事が行われていました。

フィールドワークの移動手段(タクシー一社別研修)



福井県でのフィールドワークには、タクシーを利用すると、機動力が大幅に向上します。

福井県タクシー協会加盟各社では、日頃の安全管理、そしてドライバーのおもてなし教育などに取り組んでいます。また、ドライバーの親しみのある方言（福井弁）からも、この地域の歴史や文化に触れることができます。

	車両数20台以上保有のタクシー会社数	左記16社のタクシー台数（目安）
福井	16社	573台

福井の方言番付

	東 方	西 方		
横 綱	いつちようらい	一張羅	だんね	差し支えない
大 関	けなるい	羨ましい	じるい	泥濘
関 脇	ばい	棒	のくてい	あほ
小 結	ちゃんぼ	竹筒	おつくね	睡眠
前 頭	てきない	病気	おそい	悪い



南北の距離が140km
タクシー研修先進地の
沖縄本島とほぼ同じ



(注) 時期によっては、タクシードライバーが集まらない可能性もございます。事前に必ずお問い合わせください。

福井県公式観光サイト「ふくいドットコム」

● 「修学旅行における体験学習料助成金」

学校行事として行う修学旅行において、本県で宿泊を伴って、恐竜化石発掘や越前和紙紙漉き体験などの体験学習を実施する場合に、費用の一部を助成。

学校：修学旅行生徒1人、1泊あたり@1,000円を上限

(1体験メニューが1,000円未満の場合は体験料に相当する額)

旅行会社：学校に対する助成額の半額

● 「教育旅行視察助成」

本県への新たな教育旅行のルートを検討・造成するために行う視察（下見等）に対して、交通費・宿泊費相当額の一部としてかかった費用に応じ、1人当たり最大2万5千円を助成。

福井県公式観光サイト「ふくいドットコム」に、**教育旅行の専用ページ**をご用意しています。

福井県教育旅行ガイドブック『**学び旅**』や『**探究学習素材提案資料**』をはじめ、**県や市町の助成金情報、教育旅行動画**など、様々な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

【問合せ先】

(公社) 福井県観光連盟 TEL : 0776-23-3677

詳しくは、 福井県公式観光サイト **ふくいドットコム**

<https://www.fukui-e.com/business/educational/index.html>

